

令和7年産 水稻栽培のポイント

JA米の3要件

①種子更新 ②農産物検査の受検 ③栽培日誌の記帳

品質の向上

- 稲わらは早期にすき込み、本田の未熟有機物を減らしましょう。
- 農力アッププラス・ケイ酸加里プレミア34を施用することにより、倒伏を防ぐとともに、もみの登熟を高めて食味が向上します。

ジャンボタニシ防除 (スクミリングガイ)

- 移植直後、ジャンボタニシの被害が出る前に薬剤(スクミノン)を散布しましょう。
- ピンク色の卵は水中に落としてください。

注意△

貝及び卵は素手で触らない！

特集 カメムシ類防除

- 出穂期前には場や周辺畦畔での発生の有無を確認しましょう。
- 防除は2回が基本です
1回目防除は出穂7日前～出穂
2回目防除は出穂～出穂10日後
- 発生が多い場合は基本防除＋臨機防除を行ってください。(計3回の防除になります)

特集

除草剤のポイント

- 散布後7日間は、田面が露出しないよう注意して、水の出入りを最小限にしましょう。
- 雑草の発生が多い圃場では、初中期剤(流星・サラブレットGO)や中後期剤(ゲパード・レプラスジャンボ)の散布が有効です。

高温障害対策のポイント

- 長期の中干しは避け、約1週間(軽くひび割れする程度)を基本とします。
- 残暑が厳しいときは、登熟前期(出穂後5日～15日頃)に用水をかけ流し、地温を下げることで発生を軽減できる可能性があります。
- 幼穂形成期から成熟期まで気温が高い状態が続くときはできる限りたん水状態を保ちましょう。

【ケイ酸加里プレミア34】事例集

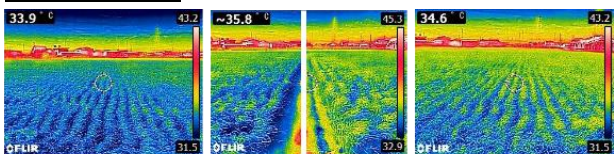
供給 JAグループ
製造 開発肥料株式会社



猛暑に負けないコメ作りのために“土づくり”をしましょう

イネの倒伏防止としてケイ酸加里を散布することはよく知られていますが、2024年産 水稻試験にて猛暑にも効果があることが実証されています。

サーモ写真



ケイ酸加里散布区

比較

未散布区

通常写真(上記3点のサーモ写真と同時撮影)



光合成が活発になり、
デンプンの貯への蓄積が良くなると
言われています。

ケイ酸加里による稲体温度上昇抑制の流れ



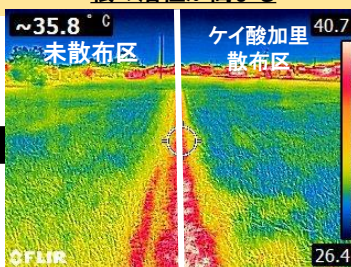
そうすると...

根からの水や肥料分の吸収が良くなる

気孔の開閉がスムーズになり
蒸散が多くなる

葉の温度が高くなるのを防ぐ
【クーラー効果】

2024年 静岡県磐田市 コシヒカリ
ケイ酸加里施用で根量が増え、
根の活性が高まる



結果



令和7年産 JA尾張中央 水稻こよみ

◎JA米の3要件
・種子更新・農産物検査の受検・栽培日誌の記載

(使用量は10a当り)

水管理	あいちのかおりSBL													
生育経	土づくり		播 種		田 植(基準)		中干し(田植後45日)		出 穂		落 水		収 穫	
基準日	11月～3月		4/27～5/5		6月1日		7/16～7/23		8/25～8/31		10月1日		10月8日	
作業日	/		/		/		/		/		/		/	
作業ワンポイント	スクミリンゴガイ駆除のため土壌が乾燥して硬い厳寒期（1月～2月）に、トラクターの走行速度を遅く、PTO回転を速く（ロータリーの回転を速く）し、土壌を細かく砕くように耕うん。 ※未発生ほ場への貝の持ち込みを防止するため、使用後のトラクターに付着した泥を洗浄。		①播種量催芽初：150 g ②箱数（目安）：10 a 当たり20箱 ③種まき前日に水から出して水を切る ④育苗日数（目安）：催芽7日（積算温度100℃） 出芽4日、緑化5日、硬化14日 ⑤温度管理の徹底：苗の徒長を防ぐため、25℃以上にならないように注意。		①植付け本数：3～4本 ②植付け深さ：2～3cm ③1坪の株数：60株（株間18cm） ④病害虫防除：初期病害虫対策のため、箱施薬剤を散布。 ⑤除 草 剤：散布後1週間はたん水状態（3～6cm）を保ちかけ流しはしない。		①開始時期：1株当たり茎数が20本程度になったら田面に軽く亀裂ができる程度に行う。 ②中干し後：一度にたん水状態にすると、根痛みするので、間断かん水で管理する。		①出穂前：稲の生育期間で最も水が必要。水を切らさないように注意する。 ②開花後：登熟期には水が必要で、稔実や品質の向上を図るうえで水は欠かせません。 開花後は間断かん水で管理する。 ※本田への害虫侵入防止のため、畦畔の草刈りを出穂2週間前までに行う。		収穫5～7日前に落水する。 ※早期落水は、品質低下の要因になるので注意する。		もみが90%程度黄化したら収穫。 ※クサネムの種子が籾に混入すると選別できないため、刈取り前には必ず抜き取る。	
使用資材	病害虫防除剤		種子消毒（24時間浸漬） 農 2 いもち病・ばか苗病・もみ枯細菌病【200倍】 テクリードCフロアブル 農 3 イネシンガレセンチュウ対策【1,000倍】 スミチオン乳剤 箱消毒 農 1 苗箱消毒（浸漬）【500倍】 イチバン		床土消毒 農 4 苗立枯病・ムレ苗防止【播種時に500～1,000倍を1箱当り500mLかん注】 タチガレエースM液剤 農 6 いもち病・白葉枯病・紋枯病・ウンカ類・イネツトムシ・ニカメイチュウ・コブノメイガ・フタオビコヤガ 育苗箱1箱当り50 g 播種時（覆土前）～移植当日/1回 ルーチンエキスパート箱粒剤 農 31 スクミリンゴガイ【1～4kg】 収穫60日前まで/2回以内 スクミノン		箱施薬 農 6 いもち病・白葉枯病・紋枯病・ウンカ類・イネツトムシ・ニカメイチュウ・コブノメイガ・フタオビコヤガ 育苗箱1箱当り50 g 播種時（覆土前）～移植当日/1回 ルーチンエキスパート箱粒剤 農 31 スクミリンゴガイ【1～4kg】 収穫60日前まで/2回以内 スクミノン		本田防除剤（病害のみ） 農 36 いもち病・紋枯病・稲こうじ病【3～4kg】 （※稲こうじ病 4 kgのみ） 出穂30～10日前 但し、収穫30日前まで /2回以内 フジワンモンカット粒剤 ※稲こうじが発生した場合は必ず散布する。 一度発生すると数年は菌が残る。 本田防除剤（害虫のみ） 農 32 ウンカ類・ニカメイチュウ・コブノメイガ【3kg】 収穫30日前まで/3回以内 パダントレボン粒剤L 農 33 ニカメイチュウ・コブノメイガ・イネツトムシ【1,500倍】 収穫21日前まで/6回以内 パダンSG水溶剤		カメムシ類・ウンカ類 農 カメムシ類・ウンカ類【3kg】 収穫14日前まで/2回以内 キラップ粒剤 ※出穂期より前に散布する。 農 カメムシ類・ウンカ類【3kg】 収穫7日前まで/3回以内 スタークル粒剤 出穂～出穂10日後に散布する 農 カメムシ類・ウンカ類【1,000倍】 収穫7日前まで/2回以内 エミリアフロアブル		次ページにも使用可能な病害虫資材掲載	
	資材		土づくり 秋 冬 予 約 農力アッププラス【60kg】 年内に施用して耕起する。 この表記があるものはドローン散布用です 肥 20 ケイ酸加里プレミア34【40kg】 倒伏防止、稔実、食味に効果がある。		育苗培土 肥 2 育苗培土かるがる君【1箱4kg】 ※10a当り20箱の場合80kg 又は 肥 1 くみあい肥鉄培土2号【1箱5kg】 ※10a当り20箱の場合100kg		水田基肥 肥 17 ひとまきくんスーパーL【40～50kg】 又は 田植7～14日前程度に施用 肥 18 側条エーススーパーL【22.5～25.5kg】 田植時に施用		中間施肥 肥 22 NK化成エース【10kgまで】 葉色が薄い場合は、出穂18～20日前に施用		肥料高騰対策 ※肥料高騰対策 化学肥料の使用量の2割低減の取組(例) 取組前)ひとまきくんスーパーL+ NK化成エース 取組後)ひとまきくんスーパーLのみ(NK化成エース不使用)		刈取後のポイント ●刈取後のポイント 水田から発生する温室効果ガスを抑えるために、刈取後は早めに作業を行い、稲わらを土の中にすき込みましょう。	
	本田除草剤		本田除草剤資材例 記載番号 商品名 使用時期 【使用量（10a当り）】		初中期除草剤 2 成分 農 11 ゼータプラス1キロ粒剤【1kg】/1回 又は 3 成分 農 13 流星1キロ粒剤【1kg】/1回 又は 4 成分 農 15 サラプレットGO1キロ粒剤【1kg】/1回		移植直後～ノビエ4葉期 但し、移植後30日まで 移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで 移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで		※ご利用にはデータ通信費が必要となります。 データ通信費は、お客様のご負担となりますので、予めご了承ください。 稲作こよみ・病害虫情報は、QRコードより取得できます。 JA尾張中央HPからも見れます！		農薬使用に関しては、病害虫発生情報を元に使用してください。 「栽培情報発信LINE」で情報を発信しています。			

使用可能な病害虫資材

(使用量は10a当り)



この表記があるものはドローン散布用です

6月(田植時)	6月(田植後)	7月(中干し)中下旬～8月上旬	8月中旬～下旬	9月上旬
箱施薬 農6 ルーチンエキスパート 箱粒剤 育苗箱1箱当り50g 播種時(覆土前)～移植当日 / 1回	スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 農31 スクミノン 1～4kg 収穫60日前まで/2回以内	稲こうじ病 →その他対象農薬) 農38 ブラシンプロアブル【1,000倍】 収穫7日前まで/2回以内 圃場内の土壌や被害わらで越冬した菌核などが伝染源となる。対策として、施肥を適切に行い窒素のやり過ぎ、遅効きに注意する。 いもち病 農35 オリゼメート粒剤 3～4kg 出穂3～4週間前 但し、収穫14日前まで / 2回以内 白葉枯病 農35 オリゼメート粒剤 3～4kg 出穂3～4週間前 但し、収穫14日前まで / 2回以内 スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 茎葉を食害する。イネ稚苗では、茎を食いちぎり、葉鞘を食害する。ほかに食べ物がないと根まで食い荒らす。 いもち病 農36 フジワンモンカット粒剤 3～4kg (※稲こうじ病 4kgのみ) 出穂30日～10日前 但し、収穫30日前まで / 2回以内 紋枯病 農36 フジワンモンカット粒剤 3～4kg (※稲こうじ病 4kgのみ) 出穂30日～10日前 但し、収穫30日前まで / 2回以内 稲こうじ 農36 フジワンモンカット粒剤 3～4kg (※稲こうじ病 4kgのみ) 出穂30日～10日前 但し、収穫30日前まで / 2回以内 いもち病 農35 オリゼメート粒剤 3～4kg 出穂3～4週間前 但し、収穫14日前まで / 2回以内 白葉枯病 農35 オリゼメート粒剤 3～4kg 出穂3～4週間前 但し、収穫14日前まで / 2回以内 いもち病 農37 コラトップ粒剤5 【3～4kg】 出穂30日前～5日前まで/2回以内 →その他対象農薬) 農38 ブラシンプロアブル【1,000倍】 収穫7日前まで/2回以内 紋枯病 農39 リンパー粒剤 【3～4kg】 収穫30日前まで/2回以内 →その他対象農薬) 農40 バリダシン液剤5 【1,000倍】 収穫14日前まで/5回以内 最初、病斑は水際に近い葉鞘部に発生する。梅雨期の温度が高く、高温条件が続くと発病が増加する。また、前年に発生が多いと感染源の菌核形成が多く、発生を助長する。	稲こうじ 農41 モンガリット粒剤 3～4kg 収穫30日前まで/2回以内 紋枯病 農41 モンガリット粒剤 3～4kg 収穫30日前まで/2回以内 カメムシ類 農42 キラップ粒剤 3kg 収穫14日前まで/2回以内 ウンカ類 農43 スタークル顆粒水溶剤 【カメムシ類】2,000倍 【ウンカ類】3,000倍 収穫7日前まで/3回以内 農44 エミリアフロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 カメムシ類 稲の穂から汁を吸い、斑点米を作る。 ウンカ類 →その他対象農薬) 農45 トレボン粒剤 【2～3kg】 収穫21日前まで/3回以内 トビイロウンカ(秋ウンカ) 8月下旬以降に爆発的に増加する。株元付近に寄生、吸汁するため、発見が遅れ「坪枯れ」を招きやすい。気づいたときには、粒剤ではなく水溶剤やフロアブル剤を株元中心に散布する。 ※適期に農薬を散布していても、気候状況やほ場によって、病気や害虫の被害に合う場合があります。田んぼを巡回して、症状が見受けられた場合は、別途農薬の散布をお願いいたします。	もみ枯細菌 農38 ブラシンプロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 農37 コラトップ粒剤5 4kg 出穂30日前～5日前/2回以内 農40 バリダシン液剤5 1,000倍 収穫14日前まで/5回以内 もみ枯細菌病 育苗時に苗腐敗症として発病する場合と、出穂期以降にもみに発生する場合がある。 腐敗症には、幼苗が湾曲して発芽し、白色から褐色に変色する。もみの発病は、乳熟期頃からで、緑色の穂の中に白色の萎凋したもみが見られ、後に灰白色ないし、淡黄色となって稔実不良となる。
箱施薬 農7 Cs. オリゼリディアEV 箱粒剤 育苗箱1箱当り50g 移植3日前～移植当日/1回	スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 農31 スクミノン 1～4kg 収穫60日前まで/2回以内	スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 農32 バダントレボン粒剤L ニカメイチュウ・コブノメイガ 3kg 収穫30日前まで/3回以内 農33 パダンSG水溶剤 イネツトムシ・コブノメイガ・ニカメイチュウ 1,500倍 収穫21日前まで/6回以内 農34 パダン粒剤4 イネツトムシ・コブノメイガ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ 3～4kg 収穫30日前まで/6回以内 チョウ目 散布目安: 7月中旬～7月下旬 農32 バダントレボン粒剤L ニカメイチュウ・コブノメイガ 3kg 収穫30日前まで/3回以内 農33 パダンSG水溶剤 イネツトムシ・コブノメイガ・ニカメイチュウ 1,500倍 収穫21日前まで/6回以内 農34 パダン粒剤4 イネツトムシ・コブノメイガ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ 3～4kg 収穫30日前まで/6回以内 農36 フタオビコヤガ(イネアオムシ) 幼虫は、葉を切り取るように食害。葉肉を食害し、表皮にかすり状の白斑を残す。発生状況を確認して、被害を受けた場合は、できるだけ早く防除する。 農37 フタオビコヤガ(イネアオムシ) 幼虫は、葉を切り取るように食害。葉肉を食害し、表皮にかすり状の白斑を残す。発生状況を確認して、被害を受けた場合は、できるだけ早く防除する。 農38 フタオビコヤガ(イネアオムシ) 幼虫は、葉を切り取るように食害。葉肉を食害し、表皮にかすり状の白斑を残す。発生状況を確認して、被害を受けた場合は、できるだけ早く防除する。 農39 フタオビコヤガ(イネアオムシ) 幼虫は、葉を切り取るように食害。葉肉を食害し、表皮にかすり状の白斑を残す。発生状況を確認して、被害を受けた場合は、できるだけ早く防除する。 農40 フタオビコヤガ(イネアオムシ) 幼虫は、葉を切り取るように食害。葉肉を食害し、表皮にかすり状の白斑を残す。発生状況を確認して、被害を受けた場合は、できるだけ早く防除する。	カメムシ類 農42 キラップ粒剤 3kg 収穫14日前まで/2回以内 ウンカ類 農43 スタークル顆粒水溶剤 【カメムシ類】2,000倍 【ウンカ類】3,000倍 収穫7日前まで/3回以内 農44 エミリアフロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 カメムシ類 稲の穂から汁を吸い、斑点米を作る。 ウンカ類 →その他対象農薬) 農45 トレボン粒剤 【2～3kg】 収穫21日前まで/3回以内 トビイロウンカ(秋ウンカ) 8月下旬以降に爆発的に増加する。株元付近に寄生、吸汁するため、発見が遅れ「坪枯れ」を招きやすい。気づいたときには、粒剤ではなく水溶剤やフロアブル剤を株元中心に散布する。 ※適期に農薬を散布していても、気候状況やほ場によって、病気や害虫の被害に合う場合があります。田んぼを巡回して、症状が見受けられた場合は、別途農薬の散布をお願いいたします。	もみ枯細菌 農38 ブラシンプロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 農37 コラトップ粒剤5 4kg 出穂30日前～5日前/2回以内 農40 バリダシン液剤5 1,000倍 収穫14日前まで/5回以内 もみ枯細菌病 育苗時に苗腐敗症として発病する場合と、出穂期以降にもみに発生する場合がある。 腐敗症には、幼苗が湾曲して発芽し、白色から褐色に変色する。もみの発病は、乳熟期頃からで、緑色の穂の中に白色の萎凋したもみが見られ、後に灰白色ないし、淡黄色となって稔実不良となる。
箱施薬 箱施薬不使用	スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 農31 スクミノン 1～4kg 収穫60日前まで/2回以内	スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 農31 スクミノン 1～4kg 収穫60日前まで/2回以内	カメムシ類 農42 キラップ粒剤 3kg 収穫14日前まで/2回以内 ウンカ類 農43 スタークル顆粒水溶剤 【カメムシ類】2,000倍 【ウンカ類】3,000倍 収穫7日前まで/3回以内 農44 エミリアフロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 カメムシ類 稲の穂から汁を吸い、斑点米を作る。 ウンカ類 →その他対象農薬) 農45 トレボン粒剤 【2～3kg】 収穫21日前まで/3回以内 トビイロウンカ(秋ウンカ) 8月下旬以降に爆発的に増加する。株元付近に寄生、吸汁するため、発見が遅れ「坪枯れ」を招きやすい。気づいたときには、粒剤ではなく水溶剤やフロアブル剤を株元中心に散布する。 ※適期に農薬を散布していても、気候状況やほ場によって、病気や害虫の被害に合う場合があります。田んぼを巡回して、症状が見受けられた場合は、別途農薬の散布をお願いいたします。	もみ枯細菌 農38 ブラシンプロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 農37 コラトップ粒剤5 4kg 出穂30日前～5日前/2回以内 農40 バリダシン液剤5 1,000倍 収穫14日前まで/5回以内 もみ枯細菌病 育苗時に苗腐敗症として発病する場合と、出穂期以降にもみに発生する場合がある。 腐敗症には、幼苗が湾曲して発芽し、白色から褐色に変色する。もみの発病は、乳熟期頃からで、緑色の穂の中に白色の萎凋したもみが見られ、後に灰白色ないし、淡黄色となって稔実不良となる。
チョウ目(イネツトムシ・コブノメイガ・フタオビコヤガ・ニカメイチュウ) イネツトムシ(ハマキ) 7月中旬から発生に注意し、多発時には若齢幼虫発生時に防除する。イネの葉を数枚つづり合わせて「つと」様の巣を作り、昼間はこの中にひそみ、夜出て葉をむさぼり食う。 コブノメイガ 6月下旬～7月中旬に飛来。窒素過多や晩生の稲に多発することが多い。イネの葉肉を食害。食害部分が白く変色。成虫発生ピークから7～10日後を目安とした若齢幼虫の防除が効果的。	スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 農31 スクミノン 1～4kg 収穫60日前まで/2回以内	スクミリングガイ(ジャンボタニシ) 農31 スクミノン 1～4kg 収穫60日前まで/2回以内	カメムシ類 農42 キラップ粒剤 3kg 収穫14日前まで/2回以内 ウンカ類 農43 スタークル顆粒水溶剤 【カメムシ類】2,000倍 【ウンカ類】3,000倍 収穫7日前まで/3回以内 農44 エミリアフロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 カメムシ類 稲の穂から汁を吸い、斑点米を作る。 ウンカ類 →その他対象農薬) 農45 トレボン粒剤 【2～3kg】 収穫21日前まで/3回以内 トビイロウンカ(秋ウンカ) 8月下旬以降に爆発的に増加する。株元付近に寄生、吸汁するため、発見が遅れ「坪枯れ」を招きやすい。気づいたときには、粒剤ではなく水溶剤やフロアブル剤を株元中心に散布する。 ※適期に農薬を散布していても、気候状況やほ場によって、病気や害虫の被害に合う場合があります。田んぼを巡回して、症状が見受けられた場合は、別途農薬の散布をお願いいたします。	もみ枯細菌 農38 ブラシンプロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内 農37 コラトップ粒剤5 4kg 出穂30日前～5日前/2回以内 農40 バリダシン液剤5 1,000倍 収穫14日前まで/5回以内 もみ枯細菌病 育苗時に苗腐敗症として発病する場合と、出穂期以降にもみに発生する場合がある。 腐敗症には、幼苗が湾曲して発芽し、白色から褐色に変色する。もみの発病は、乳熟期頃からで、緑色の穂の中に白色の萎凋したもみが見られ、後に灰白色ないし、淡黄色となって稔実不良となる。

©使用前には、農業ラベルに記載されている適用内容を確認し、散布できる作物や使用量・濃度、使用時期そして成分ごとに、定められている総使用回数を必ず守ってください。散布した後は、ほ場ごとに使用した農薬や作業内容を必ず記録してください。
©令和6年10月現在の登録内容に基づき作成されています。農薬の購入・使用時に、最新の情報を確認してください。

小牧東部営農生活センター ☎79-8000
小牧西部営農生活センター ☎73-4113

春日井営農生活センター ☎81-7363
春日井東部営農生活センター ☎51-1997

作成：JA尾張中央農業振興部 営農指導課 ☎44-1001
作成指導：JAあいち経済連 生産資材部 肥料農業新技術課

令和7年産 土づくり資材と除草剤

(使用量は10a当たり)

土づくり

時期	10月	11月	12月	1～3月	4月	5月		
わら腐熟促進剤	ワラクサルEX 【9.5kg】 又は						稲刈り後早めに散布し、1ヶ月くらい放置した後、すき込む。	秋冬予約
			石灰窒素 【20kg】					年内にできるだけ早い時期にわらの上に散布した後、すき込む。
土壌改良資材		農カアッププラス 【60kg】 又は					施用後、耕起する。	秋冬予約
					ホスピタ 【40kg】		施用後、耕起する。	肥4

時期

除草体系

商品名

【使用量・希釈倍数(参考)・散布流量】/使用回数

省力剤

【使用量・希釈倍数(参考)・散布流量】/使用回数

田植え前後

初期除草剤

メテオフロアブル
【500ml原液】/2回以内
又は
クリアホープフロアブル
【500ml原液】/1回以内

農8
農9

植代(代かき後)～移植前7日
又は移植直後～ノビエ1葉期
但し、移植後30日まで

※薬類除去効果が高いため、スクミノン等のジャンボタニシ殺虫剤と併用がおススメです。

農11

メテオジャンボ
【300g(パック10個)】/1回以内

植代(代かき後)～移植前7日
又は移植直後～ノビエ1葉期
但し、移植後30日まで

田植え直後

初中期除草剤

ゼータプラス1kg粒剤
【1kg】/1回
又は
流星1kg粒剤
【1kg】/1回以内
又は
サラブレットGO1kg粒剤
【1kg】/1回以内

農12
農14
農16

移植直後～ノビエ4葉期
但し、移植後60日まで
移植直後～ノビエ3葉期
但し、移植後30日まで
移植直後～ノビエ2.5葉期
但し、移植後30日まで

たん水状態で散布し、3～4日間は通常のたん水状態(水深3～5cm)を保ちかけ流ししない。※ジャンボ剤の処理については、推進5～6cmのたん水状態にすること。

農13
農15
農17

ゼータプラスジャンボ
【200g(パック10個)】/1回
又は
流星ジャンボ
【400g(パック10個)】/1回以内
又は
サラブレットGOジャンボ
【400g(パック10個)】/1回以内

移植後3日～ノビエ4葉期
但し、移植後30日まで
移植直後～ノビエ3葉期
但し、移植後30日まで
移植直後～ノビエ2.5葉期
但し、移植後30日まで

田植え後2週間

中後期除草剤

ゲバード1kg粒剤
【1kg】/1回
バサグラン粒剤
【3kg】/1回
クリンチャーバスME液剤
【1,000ml・100倍・100回】/2回以内
バサグラン液剤
【700ml・100倍・70回】/2回以内
ロイヤント乳剤
【200ml・500倍・100回】/2回以内

農18
農20
農26
農21
農27

移植後14日～ノビエ4葉期
但し、移植後60日まで
移植後15日～45日まで
移植後15日～ノビエ5葉期
但し、移植後50日まで
移植後15日～45日まで
移植後20日～ノビエ5葉期
但し、移植後45日まで

サキガケ楽粒
【250g】/1回
カウンシルコンプリートジャンボ
【300g(パック10個)】/1回
アトカラSジャンボMX
【500g(パック20個)】/1回以内
ゲバードジャンボ
【400g(パック10個)】/1回以内
レプラスジャンボ
【400g(パック10個)】/1回以内

農22
農23
農24
農19
農25

移植直後～ノビエ3葉期
但し、移植後30日まで
移植後5日～ノビエ3.5葉期
但し、移植後30日まで
移植後14日～ノビエ3.5葉期
但し、移植後45日まで
移植後14日～ノビエ4葉期
但し、移植後60日まで
移植後14日～ノビエ4葉期
但し、移植後60日まで

ヒエが多いとき

クリンチャー1kg粒剤
【1kg】/2回以内
クリンチャーEW
【100ml・1,000倍・100回】/2回以内

農29
農30

移植後7日～ノビエ4葉期
但し、収穫30日まで
移植後20日～ノビエ6葉期
但し、収穫30日まで

クリンチャージャンボ
【1kg(パック20個)】/2回以内

農28

移植後7日～ノビエ4葉期
但し、収穫30日まで

畦畔用除草剤

ザクサ液剤
【500ml・200倍・100回】/2回以内

農47

バスタ液剤

【500ml・200倍・100回】/3回以内

農46

刈取後除草剤

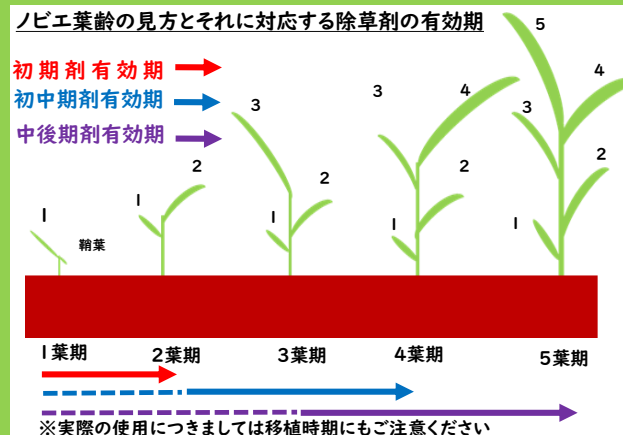
ラウンドアップマックスロード
【500ml・200倍・100回】/3回以内

農48

草枯らしMIC

【500ml・200倍・100回】/1回以内

農50



小牧東部営農生活センター ☎79-8000 春日井営農生活センター ☎81-7363
小牧西部営農生活センター ☎73-4113 春日井東部営農生活センター ☎51-1997
作成:JA尾張中央 農業振興部 営農指導課 ☎44-1001
作成指導:JAあいち経済連 生産資材部肥料農業新技術課

ジャンボタニシ防除対策補助

近年発生が多く見受けられるスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害拡大を防ぐため、スクミリンゴガイ防除剤「スクミノン」を予約購入していただいた方を対象に補助を致します。



スクミノン2kgを予約購入いただくと
1袋に付き

「ふれあい商品券500円」を補助します！



※令和7年度 水稻・園芸 肥料農薬予約申込書（最終ページ）にてご予約ください。

※補助は予約購入のみとなります。

※申込期日以降の数量変更・及びキャンセルはご遠慮いただきますようよろしくお願い致します。

【スクミリンゴガイの特徴】

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)



- 全体的に大きい
- ずんぐりしている
- 他の貝と比較して開口部の層が大きい
- 稲やコンクリート側面にピンク色の卵を産卵する

マルタニシ(在来種)



- 全体的に細長い
- 開口部と比べて螺旋上部の層が広い
- 殻口外唇（フタ）はやや厚い
- 産卵せず幼貝を産む

このピンク色の卵塊を見た事がある方は是非防除をしてください。

スクミリンゴガイの卵塊



卵塊、貝の捕殺について…

卵は水中ではふ化しないのでピンク色の卵塊を見つけたら水中に落とし、また、大きな成貝は拾って処分してください。
ビニール手袋を使用し、素手では貝を触らないでください。

【スクミノンの散布方法】

ジャンボタニシによって被害を受けた水田

稲苗の柔らかい時期に加害するため、は種後又は移植後、被害発生前に湛水状態(水深3~5cm)で均一に散布を行います。効果を十分に発揮させるため、散布後7日間は落水やかけ流しはしないでください。

水田以外には絶対に使用しないでください！



散布から効果発現まで

速効的に効く！ 誘い出してやっつける！



スクミノンを餌と思い近づきます。



スクミノンを食べます。



数分で麻痺が起こり、殻の中に閉じこもります。



薬剤処理した部分の状態。

スクミノンを食べると数分で麻痺が起こり、完全に死亡します。

防除対象：スクミリンゴガイ

使用基準：収穫60日前まで
2回以内

使用量：1~4キロ/10a

当 用 価 格

2,930 円（税込み）

予 約 配 達

2,780 円（税込み）

予 約 引 取

2,730 円（税込み）

令和7年産から栽培開始の新品種

「あいちのころ」の特徴

白未熟粒が発生しにくく、玄米の外観品質に優れます



あいちのころ

あさひの夢

- 「あいちのころ」は夏の高温条件下にも品質が低下しにくい高温登熟性を有します
- 「あさひの夢」と同様の早生品種であり、5月下旬の田植えで9月末の収穫となります
- 玄米はやや大粒で食味は良好です

【栽培特性】

- ・出穂は「あさひの夢」より1日遅い
- ・稈長は「あさひの夢」より10cm程度長い
- ・穂長は「あさひの夢」より1.6cm程度長い
- ・収量は「あさひの夢」と同等

【外観品質】

- ・千粒重は「あさひの夢」と比較して1.7g重い
- ・高温登熟性は「強」であり「あさひの夢」と比較して白未熟粒が発生しにくく外観品質が優れる

～栽培上の注意点～

- ツマグロヨコバイ、イネ縞葉枯病に対し抵抗性を持ちます
- いもち病抵抗性は「中」のため、いもち病の常発地では注意してください
- 多肥栽培では紋枯病が発生しやすく、倒伏・減収のリスクが高まるので、適正な施肥をお願いします